

『持続可能な開発目標（SDGs）と地方のインフラ』

COVID-19パンデミックの経験を経て、集積や効率に対する私たちの価値観が徐々に変わりつつあります。持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けて、交通・通信システムから発電施設、上下水道網まで広くインフラは、欠くことのできない生活基盤としてその役割を見つめ直す時期にあります。土木学会中国支部は創立80周年を機に、多様な専門家を交えてこの新たな挑戦について再考します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



令和3年11月9日(火)
13:30~17:00 開場13:00

【会場】 ・ 広島国際会議場 《ヒマワリ》
（広島市中区中島町1-5平和公園内）
・ オンライン（ZOOMウェビナー）
【参加費】 無 料

土木学会継続教育認定CPDプログラム



【プログラム】

◆開会挨拶（13:30~13:45）

- ・主催者挨拶 土木学会中国支部支部長 水島 賢明 氏
- ・来賓挨拶 土木学会109代会長 谷口 博昭 氏
- ・来賓挨拶 国土交通省中国地方整備局長 多田 智 氏

◆令和3年度選奨土木遺産認定書授与式（13:45~14:15）

- ・選奨土木遺産について 岡山大学准教授 樋口 輝久 氏
- ・九十九橋（所在：広島県安芸郡海田町）
受賞者 広島県土木建築局長 齋藤 博之 氏
- ・本川橋（所在：広島県広島市中区）
受賞者 広島市道路交通局長 加藤 浩明 氏

◆基調講演（14:15~15:00）

演 題：「アカデミックエンタープライズが駆動する地方創生：広島大学の挑戦」
講 師：広島大学理事・副学長（グローバル化担当） 金子 慎治 氏

◆パネルディスカッション（15:10~16:50）

テーマ：「協調社会の新しい価値とインフラ」

パネリスト：

- 東広島市長 高垣 広徳 氏
- 作家/エッセイスト 茶木 環 氏
- 持続可能な地域社会総合研究所長 藤山 浩 氏
- 国際協力機構 大窪 香織 氏
- 土木学会会長 谷口 博昭 氏

コーディネーター：土木学会理事 藤原 章正 氏

◆閉会挨拶（16:50~17:00）

- ・主催者挨拶 土木学会中国支部副支部長 藤原 章正 氏

※CPD受講証明書は、行事終了後に受付にて配布いたします。

広島コロナお知らせQR

スマートフォンや携帯電話で読み取ってください。

QRで
積極
ガード



公益社団法人土木学会中国支部創立80周年記念事業 (QR番号 0043848)

どのようなサービスですか。

同じタイミングで同じ場所を訪れた方の感染が確認された場合
注意喚起のメールが届くサービスです。

どうすれば登録できますか。

1

QRコードを
スマートフォン等のカメラで
読み取るアプリを読み取ります。

2

メールアドレスを
入力して登録完了します。

完了

【後 援】

国土交通省中国地方整備局 広島県 広島市 一般社団法人日本建設業連合会中国支部
一般社団法人建設コンサルタンツ協会中国支部 公益社団法人日本都市計画学会中国四国支部
公益社団法人地盤工学会中国支部 公益社団法人日本コンクリート工学会中国支部
公益社団法人土木学会中国支部 TEL:082-222-2376 FAX:082-222-2496
E-mail:jsce-chugoku@citrus.ocn.ne.jp

【主催・問合せ】



◆基調講演 (14:15~15:00)

演 題：「アカデミックエンタープライズが駆動する地方創生：広島大学の挑戦」

講 師：広島大学理事・副学長（グローバル化担当） 金子 慎治 氏

＜講師プロフィール＞1989年九州大学工学部水工土木工学科に入学し、1999年3月博士(工学)を取得するまで、土木工学、特に環境システム工学を学ぶ。土木学会には、1993年に入会し、1999年に第7部門で奨励賞を受賞。その後、環境省所管の財団法人地球環境戦略研究機関で3年間研究員として務め、2002年4月から開発経済学、環境経済学の担当の准教授として、広島大学大学院国際協力研究科に着任。2009年4月から同教授。アジアを中心とした途上国の環境経済・政策研究を展開。2020年4月からは、副学長（グローバル化推進担当）、2021年4月からは、理事・副学長（グローバル化担当）を担当し、大学運営に携わる。

◆パネルディスカッション (15:10~16:50)

テーマ：「協調社会の新しい価値とインフラ」

パネリスト：

東広島市長 高垣 広徳 氏

＜講師プロフィール＞昭和28年、広島県尾道市生まれ。大阪大学工学部卒業後、広島県に入庁。主に土木部門を中心に歩み、平成25年土木局長を最後に退官。

株式会社サタケでの勤務を経て、同26年、広島県副知事に就任。同30年2月に行われた東広島市長選挙に立候補し、当選、現在1期4年目を迎える。市長就任後、西日本豪雨災害や新型コロナウイルス感染拡大など、未曾有の困難に直面するも、「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市」を将来都市像に掲げ、自然とデジタルの調和された災害に強いまちづくりを目指し、市政運営に取り組む。

作家/エッセイスト 茶木 環 氏

＜講師プロフィール＞報道キャスター、出版社勤務を経て、執筆活動に入る。「インフラと文学」など様々な視点から執筆活動を続ける。インフラ関連の著書に『広島のみちと路面電車―「真実一路」の人・奥窪央雄』『激しく生きてこそ命の値打ちがある―「一貫之」の人・大田哲哉』、主な連載記事に日本民営鉄道協会広報誌『みんてつ』、『都市をつくる人々』（『土木施工』）、『地域鉄道物語』（新聞連載）、などがある。（一社）計画・交通研究会理事。東京都事業評価委員。日本ペンクラブ会員。

持続可能な地域社会総合研究所長 藤山 浩 氏

＜講師プロフィール＞1959年、島根県益田市生まれ。一橋大学経済学部卒業。博士（マネジメント）。島根県中山間地域研究センター等を経て2017年より現職。「みんなでつくる中国山地百年会議会長」。総務省地域力創造アドバイザー他、国・県委員多数。専門は、中山間地域政策、未来社会論、地域計画、地域分析（人口・経済）、地域づくり支援。著書に「田園回帰1%戦略」、「循環型経済をつくる」、「小さな拠点をつくる」、「日本はどこで間違えたのか」など。

国際協力機構 大窪 香織 氏

＜講師プロフィール＞三重県南部の過疎地に育つ。インフラによって地域の暮らしが守られ、豊かになる幼少期からの体験を経て、インフラに魅了される。広島大学で土木工学を専攻、修士課程修了後、インフラを通じた国づくりに関わりたいという思いで、国際協力機構（JICA）に入構。地図のない国に地図を作る協力や、交通計画づくり、港湾開発や地域開発などに携わる。シリアおよびカンボジアに駐在。国土交通省東北地方整備局に出向し、東北地域の復興事業に携わる経験も。3児（0、4、7歳）の母でPTAや地域活動、女性のエンパワメントに関わり「身近なことから社会を、世界を変える」をプロデュース。

土木学会会長 谷口 博昭 氏

＜講師プロフィール＞東京大学工学部（土木）卒業後、建設省に入省。国土交通省近畿地方整備局長、国土交通省道路局長、国土交通省技監を歴任。国土交通事務次官で退官後は、一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会長、一般社団法人日本トンネル技術協会会長を務める。現在は、芝浦工業大学客員教授。令和3年度土木学会会長として、会長プロジェクト「国土・地域のビックピクチャーの策定」を展開。日刊建設工業新聞に連載コラム「所論諸論」を掲載中。

コーディネーター：土木学会理事 藤原 章正 氏

＜講師プロフィール＞広島大学副学長（学術院担当）。1985年広島大学工学研究科修了、博士(工学)。呉工業高等専門学校助手、広島大学助手・助教授を経て2002年より教授。専門は交通計画・都市工学。著書 Sustainable Transport Studies in Asia 他 350編を超える学術論文を公表し、学会賞等を16回受賞。アジア交通学会理事、日本モビリティ会議理事、広島県都市計画審議会会長ほか多くの委員を務める。